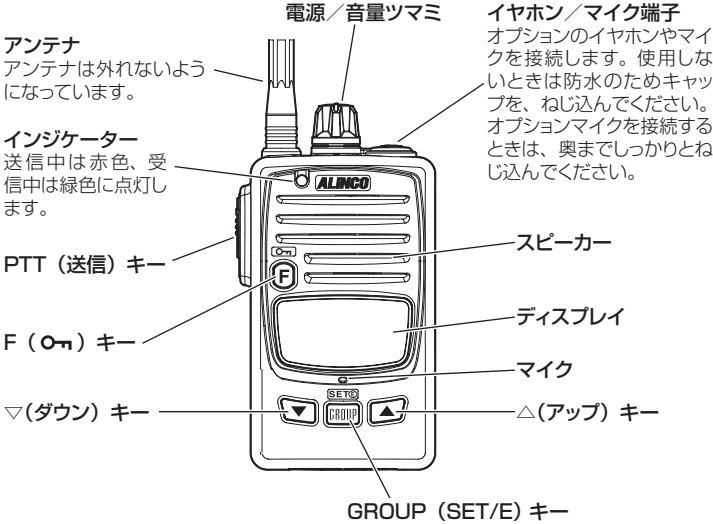
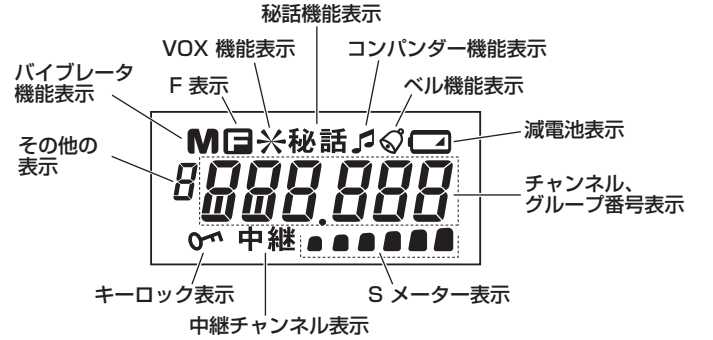


各部の名前とはたらき

前面部



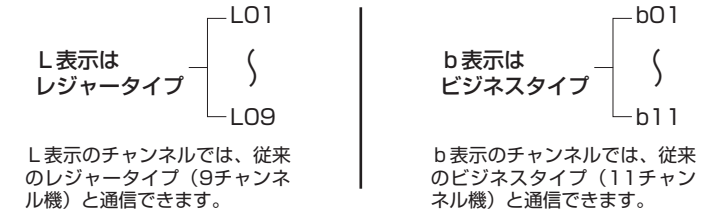
ディスプレイ



チャンネル表示について

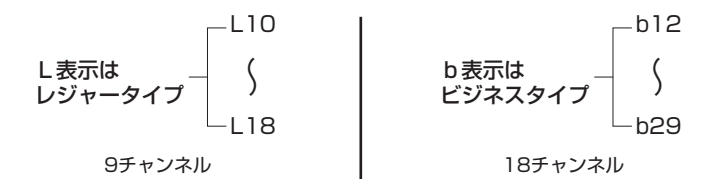
●交互通話時

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。



●中継通信時

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。



セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- [F] キーを押しながら[SET] キーを押します。→セットモードに入り項目が表示されます。
- [SET] キーを押すごとに項目が切り替わります。[F] キーを押すと前項目に戻ります。
- ▽または△キーを押して設定値を変更します。
- [PTT] キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回します。ツマミに表示された数字(1~8)が大きいほど音量が大きくなります。▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01~09、b01~11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。



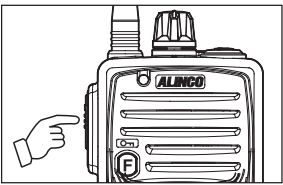
受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザツ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT] キーを押します。→インジケーターが赤色に点灯します。[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブ」が鳴り送信できません。[PTT] キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。



中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10~18、b12~29を選択します。→「中継」が点灯します。



送信する

[PTT] キーを押し続けます。→直後に「ビビ」という音が鳴ります。[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継用チャンネルでは、子機どうしの直接通話はできません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bAt-AL	電池選択(アルカリ/ニッケル水素)	AL / ni	AL
CmP-oF	コンパウンダー(雑音低減)	OFF / ON	OFF
vo-oF	VOX(音声検出送信)	OFF / Lo / Hi	OFF
Scr-oF	秘話	OFF / ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音量(操作音)	OFF / Lo / Hi	Lo
EdP-oF	エンドビー(送信終了音)	OFF / ON	OFF
bEL-oF	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF / ON	OFF
LmP-5	ランブ	OFF / 5秒 / ON	5秒
HLd-oF	PTTホールド(送信保持)	OFF / ON	OFF
Ptt-on	PTTオンオフ(送信禁止)	OFF / ON	ON
At-on2	中継器接続手順	OFF / ON1 / ON2	ON2
EAr-on	イヤホン断線検知	OFF / ON	ON
CLb-oF	コールバック	OFF / ON	OFF
PwL-Hi	送信出力(Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo / Hi	Hi
EmG-oF	緊急通報機能([SET/E]長押しで通報)	OFF / ON	OFF
Vib-oF	バイブレーター(呼び出しお知らせ)	OFF/ON1/ON2/ON3	OFF

コールトーン機能

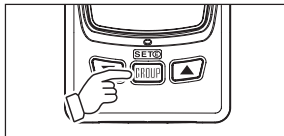
送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▽と△キーでは音色が異なります。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。



グループ番号を合わせる

[F] キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。



グループ番号は01~50を選択できます。

注意 [F] キーを押しはじめたらすぐに▽または△キーを押してください。[F] キーを長く押すとキーロックになります。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

メモ 従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、会話が途切れることがあります。トーン周波数や検出精度の違いによるものです。このような場合は上級セットモードの「トーンマージン拡張」機能をONにしてお試しください。

キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

簡易キーロック(LoC-1)

[F] キーを約2秒押します。→「LoC-1」が点滅したあと「Om」が点灯します。



解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック(LoC-2)

[F] キーと[GROUP] キーを同時に約2秒押します。→「LoC-2」が点滅したあと「Om」が点灯します。



解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

電池の残量が少なくなると「□」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「□」が点滅します。点滅したら新しい電池と交換してください。



メモ 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換してください。電池選択(セットモード)設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

その他の機能

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。



メモ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機能は、中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 [PTT] キーを離し2秒たってから送信してください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。 3分の通信制限時間を超過している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 [PTT] キーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。 充電機が専用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 専用充電機EPB-179を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-179	ニッケル水素充電機
EDC-179A	ツイン充電器セット(ACアダプタEDC-122付き)
EDC-179R	連結ツイン充電スタンド(別売EDC-162が必要)
EDC-181A	シングル充電器セット
EDC-162	連結充電機大容量ACアダプター
EMS-62(※1)	スピーカーマイク(防水プラグ)
EMS-71(※1)	防水スピーカーマイク(防水プラグ)
EME-32A	イヤホンマイク(業務仕様・防水プラグ)
EME-36A	イヤホンマイク(防水プラグ)
EME-48A	イヤホンマイク(業務仕様・防水プラグ)
EME-58	イヤホン(耳かけ式・防水プラグ)
EME-59A	イヤホンマイク(防水プラグ)
EDS-14	プラグ変換ケーブル(防水プラグ)
ESC-51	ソフトケース

(※1) スピーカーマイクは、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。上記以外のオプションマイク製品を使用するには、別途プラグ変換ケーブル(EDS-14)が必要です。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125~421.9125MHz(受信) 422.2000~422.3000MHz 440.2625~440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750~421.7875MHz(受信) 422.0500~422.1750MHz 440.0250~440.2375MHz(送信)
周波数制御チャンネル	421.8000 / 440.2500MHz	
電波形式	F3E(FM) / F1D(FSK)	
送信出力	10mW/1mW	
受信感度	-14dBu(12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上(内部スピーカー) / 15mW以上(外部出力)	
通信方式	単信、半復信	
定格電圧	DC1.5V(単三形電池1本) / DC1.2V(EBP-179使用時)	
動作温度範囲	-10~+50℃	
寸法	突起物(ダイヤル・アンテナ)除く 幅54mm×高さ92mm 電池収納部の突起除く厚さ17mm(厚さ最大28.5mm)	
アンテナ長	L: 約16cm M: 約7.5cm	
重量	L: 約138g(単三形電池1本含む) M: 約128g(単三形電池1本含む)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。